

2017年2月27日

報道関係各位

『多発性硬化症経口治療薬フィンゴリモド塩酸塩の創製』
第63回大河内賞「大河内記念技術賞」を受賞
受賞製品名：多発性硬化症治療薬「イムセラ®カプセル」

田辺三菱製薬株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：三津家 正之）は、「多発性硬化症経口治療薬フィンゴリモド塩酸塩の創製」の功績に対し、公益財団法人大河内記念会から「わが国の学術の進歩と産業の発展に大きく貢献したと考えられる業績」が認められ、「第63回（平成28年度）大河内記念技術賞」を受賞しましたのでお知らせいたします。

大河内賞は、故大河内正敏博士の功績を記念して設立されたもので、わが国の生産工学、生産技術の研究開発、および高度生産方式の実施などに関する顕著な功績を表彰する権威ある賞です。

なお、贈賞式は3月24日（金）に東京・丸の内内の日本工業倶楽部会館で行われます。



多発性硬化症治療薬「イムセラ®カプセル 0.5mg」

◀ 本件に関するお問い合わせ先 ▶

田辺三菱製薬株式会社 広報部

TEL : 06-6205-5211

受賞対象

多発性硬化症経口治療薬フィンゴリド塩酸塩の創製

第 63 回大河内記念技術賞 受賞者

| | |
|--|--------|
| 田辺三菱製薬株式会社 創薬本部フェロー 薬学博士 | 千葉 健治 |
| 田辺三菱製薬株式会社 創薬本部主席研究員 薬学博士 | 安達 邦知 |
| 京都大学 名誉教授 薬学博士 | 藤多 哲朗 |
| 株式会社タイショーテクノス 取締役開発本部長 薬学博士 (三井製糖株式会社) | 佐々木 重夫 |
| 株式会社 PRISM BioLab 研究開発部主幹研究員 理学博士 (元田辺三菱製薬株式会社) | 三品 正 |

受賞技術の概要

フィンゴリド塩酸塩は、田辺三菱製薬と、京都大学薬学部、三井製糖（旧台糖）との共同研究で見出した冬虫夏草由来天然物をもとに、構造変換を行い、純合成品として創製されたスフィンゴシン 1-リン酸受容体を標的とする世界初の免疫調節薬です。難治性の自己免疫疾患である多発性硬化症における世界初の経口治療薬であり、特に再発性の多発性硬化症に有効な薬剤として日欧米を含めた世界 80 ヵ国以上で約 15 万人の患者さんに使用されていることから、世界規模での多発性硬化症の治療に大きく貢献しています。

田辺三菱製薬の概要

田辺三菱製薬は、1678 年に創業、日本の医薬品産業発祥の地である大阪の道修町に本社を置き、医療用医薬品事業を中心とする国内上場企業としては最も歴史ある老舗企業です[※]。「医薬品の創製を通じて、世界の人々の健康に貢献します」という企業理念のもと、中期経営計画 16-20 では「Open Up the Future – 医療の未来を切り拓く」をキーコンセプトと決めました。重点疾患領域である「自己免疫疾患」「糖尿病・腎疾患」「中枢神経系疾患」「ワクチン」を中心に、アンメット・メディカル・ニーズに応える医薬品の創製を通じて、世界の患者さんの健康に貢献していきます。 ※東京商工リサーチ調べ

<http://www.mt-pharma.co.jp/>